

■ 回答委員数 8名

■ 委員による意見

1. 宇宙関連事業

(1) 2020年度実績について

- ・ 承諾します。
- ・ コロナ禍であり、思うような実績は上げられなかったと思うが、内之浦射場活用研究会を中心に、企業・大学等への訪問をし、取組みをアピールしたことは良かった。
- ・ 特にありません。
- ・ 特にありません。
- ・ 様々な宇宙関連事業に関わる取組みをされ、有用な情報収集と成果があったと推察されます。一方で、本事業では、宇宙開発いわゆるロケットをテーマにした内容がほとんどで、種子島の南種子町の同様の取組みと内之浦のそれとの違いが十分に明らかになっていない印象を受けた。
- ・ 問題ないと思います。
- ・ 取組初年度であり、目に見える効果が数値に反映されていないところである。しかしながら、事業の推進に向け大学や関連企業との接触が図られており、取組としては評価できると判断する。
- ・ 小中高生を対象とした宇宙を学ぶ教室が開催され良かったと思う。

(2) 2021年度計画について

- ・ 承諾します。
- ・ SDGs をこれから推進する上でも国民の宇宙への関心を高めていくことは重要であり、肝付町の取組みを広く発信してほしい。
- ・ 特にありません。
- ・ 特にありません。
- ・ 宇宙をテーマに様々な取組みを進められる点で、成果が期待できる。一方で、肝付町ならではの独創性をアピールすることは、種子島との差別化のため重要である。たとえば、ロケット関係に特化することなく、宇宙全体を包括するテーマとイベントの推進が望まれる。その中には、アカデミアからの貢献として、工学、物理学、地学および農学（宇宙環境を模した植物の成長を研究）の研究分野が含まれる。
- ・ 良い計画であると思います。
- ・ 具体的に開始されたばかりの事業であるが、ロケット射場という資源を活かす事業計画がなされている。専門企業・大学といった高度な専門分野との連携を行いつつ、小中

校生を対象としたイベントの開催により、事業の裾野を広げることは、将来的に地域の発展に資するものであると考えられる。

- 宇宙を学ぶ回数当を増やしイベント等を行い、PR活動をもっとやってほしい。肝付町は楠隼高等学校という学び舎があります。もっとJAXAと連携して宇宙を学ぶ時間を作ってもらいたい。肝付町は歴史と宇宙の町としてのPRにもつながると思います。

### (3) その他

- 民需をいかに動かすか、ここができれば国も動き出す。
- 特にありません。
- 特にありません。
- 宇宙科学資料館がやや古い感じがすることは否めないところであり、宇宙ミュージアム整備構想が進むことを望んでいます。

## 2. 広域観光関連事業

### (1) 2019年度実績について

- 承諾します。
- 特にありません。
- 特にありません。
- 当該地域の観光ブランド強化のための情報収集・発信について、多面的に活動を推進した点は、高く評価できる。ただ、その中身は既存の活動の延長に過ぎず、その結果創出されたせいについては目標を十分に達成していない可能性があります。個別には、ホームページは情報量と質が重要で、“HPのオスミツキ大隅国”については好感が持てますが、もう少しコンテンツを深く掘り下げるとよいと思います。動画の活用も一案と思われる。また、地域資源としての食、農、人、歴史などに特化したアピールも地域の特徴を示す良い方法です。オンリーワンは何かありますか？ぜひご検討下さい。
- 問題ないと思います。
- PRが足りない。

### (2) その他

- 大自然豊かな大隅・肝付町と宇宙産業最先端の肝付町内之浦、この2つのイメージのギャップを埋めていく仕掛けが必要！
- 特にありません。
- 特にありません。
- 長期的なビジョンが必要に思います。そのために、肝付町の観光資源としてのミッションを考えられたらどうでしょうか。そのうえで、対象を絞って効果的かつ集中的に取り組まれると良いと考えます。
- めぐまれた自然が多いので、これを活かした観光ルートを作ることが良いのでは